

歯周治療の 長期継続管理

詳しい
情報は
こちら

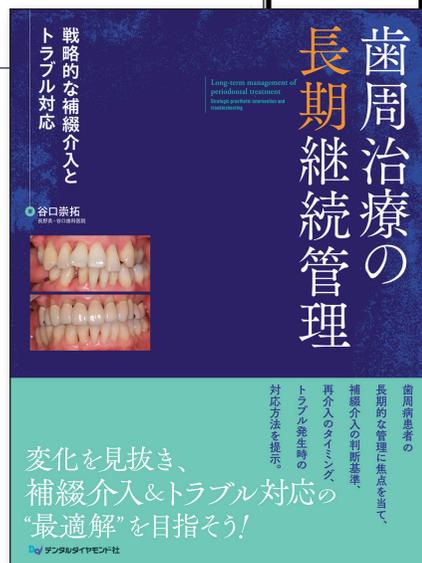


戦略的な補綴介入とトラブル対応

著 谷口崇拓(長野県・谷口歯科医院)

変化を見抜き、
補綴介入&トラブル対応の
“最適解”を目指そう！

歯周治療は治療後のメンテナンスこそが口腔機能の長期維持を左右します。しかし、現実の臨床では、加齢や全身の状態の変化などにより、再介入が避けられない場面が少なくありません。本書は、歯周病患者の長期的な管理に焦点を当て、補綴介入の判断基準、再介入のタイミング、トラブル発生時の対応方法をまとめました。豊富な長期症例を提示し、歯周治療・補綴・メンテナンスを広い視野で捉える考え方を提示します。さらに、歯科衛生士との連携やメンテナンス体制の構築についても具体的に解説。高齢社会における歯周治療と補綴処置の“これから”を支える1冊です。



A4判変型・152頁・オールカラー

本体8,000円+税

CONTENTS

第1章 長期的に安定した予後を目指すために

- 01 高齢化に伴って起こる口腔内の変化
- 02 歯周病患者の高齢化をどのように考えるか
- 03 歯周病患者における補綴戦略の立て方
- 04 歯周病の長期的予後に関する最新エビデンス

第2章 長期症例から考える歯周病患者への治療戦略

- 01 歯周基本治療
- 02 歯周外科治療
- 03 インプラント治療①:エビデンス
- 04 インプラント治療②:臨床例
- 05 ブリッジ
- 06 部分床義歯

- 07 トラブル対応①:多数歯にわたるブリッジ
- 08 トラブル対応②:インプラント
- 09 トラブル対応③:歯周炎の再発・進行
- 10 トラブル対応④:歯根破折
- 11 トラブル対応⑤:セメント質剝離
- 12 トラブル対応⑥:歯根吸収

第3章 長く寄り添うメンテナンス

- 01 メンテナンスの重要性を再考する
- 02 インプラントのメンテナンス
- 03 当院でのメンテナンス体制と歯科衛生士教育